

3千242人が電気使用者のお知らせが読めます。改選があると仮定すると、これまでに1万人が選ばれました。

平成29年度は実践率50%が参加することを目標にしています。

内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

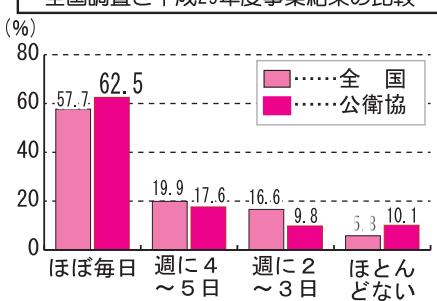
県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費するエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度から継続しています。

極的に地域の公衆衛生活動に取り入れていただきたい事業です。また、重点メニューには、環境・健康募金の環保協配分金の一部を充てて活動支援グッズがあり、これらの活用を通じて募金事業への理解も促しています。

平成29年度全県共通事業重点メニュー報告

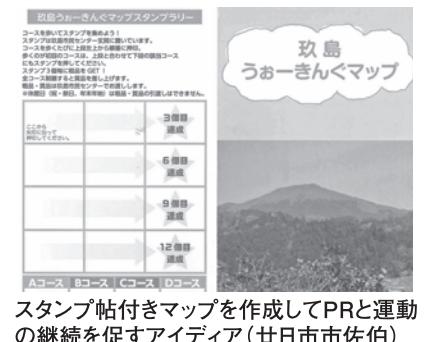
<1万人の食チェック事業>

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度 全国調査と平成29年度事業結果の比較



出典:「食育に関する意識調査報告書」平成28年2月 内閣府食育推進室

<公衛協発ウォーキング事業>



スタンプ帖付きマップを作成してPRと運動の継続を促すアイディア(廿日市市佐伯)

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすこともねらいとしています。昨年度は、公衛協が関わる事業が、延べ430回展開され、15

この人たちを核に地域の省工農活動が広まることを期待します。

県内15万人が美化活動に参加

この人たちは、地域の環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できることを目的に、地域清掃・美化、水質改善・保全、里地・里山づくりの3テーマの取り組みを支援するもので、平成22年度から継続しています。

万3千403人が参加しました。支部・地区学区単位では、まだ報告されていない事業もあると考えられますので、引き続き公衛協の活動成果の見える化が課題です。

事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

期間を定め、食べた食

品をカードに記載する

もので、推進委員の2

人に1人は住民の指導

ができるようになるこ

とを目標に実践率50%をめざしています。

平成23年度から継続しています。事業内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標にしています。

今年度は、広島県が進める「瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画」の推進に協力して、公衛協の地域美化活動実績を行政と共に有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

平成29年度は、国の第3次教育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上を目標に加え、食事バランスを確認する活動を継続しました。また、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

で、平成23年度から継続しています。事業内容は、チェック

るようになります。また、これまでに1万人が電気使用量のお知らせが読めました。

平成29年度は実践率比で0・3%となり、前年改選があると仮定すると、これまでに1万人が電気使

用率の実践率は微増しました。2年に一度委員会が開催されるようになります。

平成29年度には推進委員の実践率を目標としています。推進委員の2人に1人は実践できるように、平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標としています。

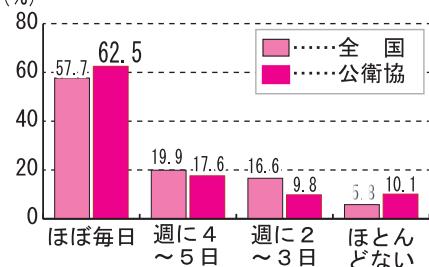
県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費するエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度から継続しています。

内容は、8月分の検針日に含まれる約1ヶ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見て、省エネの効果を感じ、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指しています。推進委員の2人に1人は実践できるようになります。

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費するエネルギーの削減運動を実践率は微増。地域活動への広がりに期待します。

〈1万人の食チェック事業〉

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度
全国調査と平成29年度事業結果の比較



出典:「食育に関する意識調査報告書」平成28年2月
内閣府食育推進室

〈公衛協発ウォーキング事業〉



スタンプ帖付きマップを作成してPRと運動の継続を促すアイディア(廿日市市佐伯)

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすとともに、PRに活かすことをねらいとしています。

昨年度は、公衛協が関わる事業が、延べ430回展開され、15歳以上の男女が、主食・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすことをねらいとしています。

昨年度は、公衛協が、延べ430回展開され、15歳以上の男女が、主食・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

この人たちは核に地域の省エネ活動が広まることが期待します。

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費するエネルギーの削減運動を実践率は微増。地域活動への広がりに期待します。

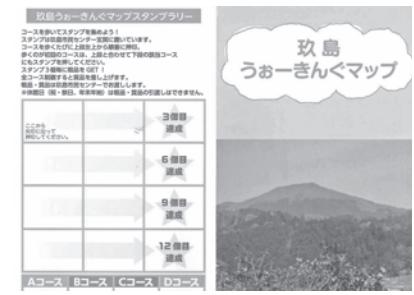
平成29年度全県共通事業重点メニュー報告

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度
全国調査と平成29年度事業結果の比較



出典:「食育に関する意識調査報告書」平成28年2月
内閣府食育推進室

〈公衛協発ウォーキング事業〉



スタンプ帖付きマップを作成してPRと運動の継続を促すアイディア(廿日市市佐伯)

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすことをねらいとしています。

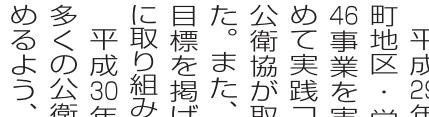
昨年度は、公衛協が、延べ430回展開され、15歳以上の男女が、主食・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすことをねらいとしています。

昨年度は、公衛協が、延べ430回展開され、15歳以上の男女が、主食・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

この人たちは核に地域の省エネ活動が広まることが期待します。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度
全国調査と平成29年度事業結果の比較



出典:「食育に関する意識調査報告書」平成28年2月
内閣府食育推進室

〈公衛協発ウォーキング事業〉



スタンプ帖付きマップを作成してPRと運動の継続を促すアイディア(廿日市市佐伯)

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすことをねらいとしています。

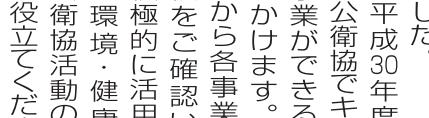
昨年度は、公衛協が、延べ430回展開され、15歳以上の男女が、主食・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

この事業では、活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすことをねらいとしています。

昨年度は、公衛協が、延べ430回展開され、15歳以上の男女が、主食・副菜を組み合わせた食事」の割合は62

この人たちは核に地域の省エネ活動が広まることが期待します。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度
全国調査と平成29年度事業結果の比較



出典:「食育に関する意識調査報告書」平成28年2月
内閣府食育推進室

〈公衛協活動の活性化〉

環境・健康の向上

の環境・健康の向上

の環境・健康の向上